

名探偵・鷺沢一郎～蒜山高原の悲劇編～

- ・ 鷺沢—横浜で活躍するへっぼこ探偵。
- ・ 楡—その助手。
- ・ のぞみ—今回の依頼人。美人。
- ・ 二宮—のぞみの夫。

- ・ その他オーディエンス

舞台には、椅子に深く体をうずめ、ワインをくゆらしている優雅な鷺沢探偵と、
いっぱいの様子で電話の応対をしている助手の楡の姿が見える。

ここは 横浜、鷺沢探偵事務所。

鷺沢 この世で一人の男が生きていくとするならば、
楡 (電話に) 申し訳ありませんでした！
鷺沢 その彼に必要なものはいったいなんだろう？
楡 ええ？ 告訴だけは勘弁してください。
鷺沢 楡君、聞いているかい？
楡 はい。(電話に)いいえ、何でも。
鷺沢 となれば楡君。
楡 おっしゃるとおりです。
鷺沢 男に必要なものはおのずとわかってくるね。
楡 ええ。
鷺沢 それは、信念。これによって僕らは呼吸しているのだ。そしてこれほどの武器もあ
るまいと僕
は確信するよ。
楡 あれは、違法捜査でした。

軽快な音楽。

楡 これが僕の日常たる日常だ。普段僕は朝の四時に死ぬほど眠り中、起きる。そし
て美しく輝
く横浜ベイサイドエリアを横目に見ながらこの事務所まで出勤。朝の 仕事は、まず寝ることだ。
鷺沢 楡君、よい仕事と言うのは睡眠不足ではけして行えないものだ。だから僕らは良く 寝なくては
ならない。
楡 こう言う先生は自称ハマでは知らぬものとしていない、名探偵、鷺沢一郎だ。先生は これまで千
二百の事件を手がけ、そのほとんどに失敗している。なぜなら、彼の捜 査には理論も手続きも何もな
いからだ。直感探偵—彼は自分の事をそういつてはば からない。
鷺沢 やはり、男は直感だよ。直感のない男など、甲羅のない亀と一緒にだ。
楡 なんだかかっこいいですね。
鷺沢 おっと、またモテてしまうかなァ。
楡 モテ探偵。これは直感探偵とは別の、先生の自称だ。意味するところは明白だが、 一応聞いて
おこう。先生。モテ探偵とはいったい、何ですか。
鷺沢 答えよう。それは、もてたくてしょうがない探偵のことだよ。真実の追究が探偵の 使命だとい
うやからがいるが、きれいごとだ。たとえ明らかに犯人でも、かわいけ れば無実。僕とつきあってく
れるなら無実。それが僕にとっての真実だ。
楡 最低だった。
鷺沢 きれいごとを。これを聞いても、そんな口がたたけるかな？

切ないオルゴール・ミュージック（ビーズのクリスマスの曲）がなる。

鷺沢 さあ、来た。これはもてたいがもてない男にうってつけのBGMだよ。これを歌っているのは大変もてるに違いない男だが、ふしぎと、もてない男の心の空白に訴えかける名曲でもある。

榆 今年も、もてずに終わってしまうんだらうな……。

鷺沢 そうだ、榆君！今はクリスマス。

榆 （マイム）雪だ。凍らせるがいい、恋人達の末梢神経に至るまで！

鷺沢 そして一人家路につく！

榆 シャンパンを買ってしまった。一緒に飲む相手もないのに、これはどうしたことなのか。自分が、わかりにくい。

鷺沢 玄関に家賃の催促状が！

榆 よせよ、クリスマスにこういった請求は。この虚しさを共有できやしないのに、共益費が含まれているんだね……。

鷺沢 そしてシャンパンを一人で！

榆 カーテンを開ければ遠くに街の明かり。そして手前に自分の姿が映る。メリークリスマス、自分。今年も良くやったよ。はは。君は微笑んでいるね……。

音楽、高まる。

榆 ……ああ、もてたいなあ……。

鷺沢 それだ榆君！

榆 先生！

鷺沢 今、君は「もてたい」という言葉を完璧にマスターしたね！

榆 一切嬉しくありません！

ドアチャイムの音。

榆 はーい！

鷺沢 うっちゃっておきなさい。どうせ新聞の勧誘だよ。

榆 半年ぶりの依頼かも知れませんよ！先生、しゃんとしてください！

榆、はける。鷺沢、寝ころがってジャンプを読む。「ジャンプの続きが気になるねー。」

榆に連れられて、のぞみ現れる。

鷺沢とのぞみ、目を合わせる。

ドラマチックな音楽。

ふたり、ドラマチックな動きをし、何事もなかったかのように振舞う。

鷺沢 お座りください。

榆 なかったことにしないでください！お知り合いなんですか？

のぞみ 高校の同級生なんです。

榆 そうだったんですか！先生、なんで隠そうとするんですか！

鷺沢 （無視）今日は何のご用で？まさか……。

のぞみ いえ、実は……

榆 そうして、その女性、のぞみさんは話し始めた。のぞみさんの夫・二宮信夫さんは、岡山にある蒜山高原で大規模な牧場を経営しており、所有している土地は岡山の三分の一にもあたるらしい。しかし最近、その帰りが遅いという。本人は仕事が忙しいからだというが、浮気をしているのではないか、調査してほしいと……。

鷺沢　　すぐに蒜山へまいりましょう。
のぞみ　　お願いします。でも私、信じていますわ。あの人が浮気なんてしていないって…。(ふらつく) すいません、私、長旅で疲れてしまいましたわ。少し休ませてもらっても？
榆　　こちらへ。

のぞみ、去る。

榆　　先生先生！怪しいですよ、態度！もしかして、のぞみさんと過去にいい仲だったとか？
鷺沢　　まあ、男と女の関係だった時もある…。
榆　　マジですか！ヒュー、先生ヒュー！
鷺沢　　ヒューとか言うな。しかし、のぞみさんも哀れなことだ。二宮なんかと一緒にいるから…。
榆　　まだ浮気と決まったわけじゃありませんよ。…え？先生、だんなさんも知ってるんですか？
鷺沢　　悪魔のような男さ…。
榆　　先生、過去に何があったんですか？
鷺沢　　しょうがないな、話してやろう。あれは僕たちが高校生だったときのことだ…。

鷺沢の回想。高校時代のシーン。二宮、いけている。
テストの答案を返している先生。二宮、受け取る。

先生　　二宮、また100点だ。

サッカーでゴールをキメている二宮。

二宮　　そら、シュートだ！

女子が二～三人、二宮にきゃーきゃー言いながら群がる。

二宮　　ははは！ははは！

鷺沢　　二宮がもてにもてている頃、僕は、全ての女が僕に気があるという妄想で、現実を生き抜いていた…。
そんなある日のことだ。

のぞみ、体操着で現れる。

のぞみ　　鷺沢くん！今日の体育は私がペアーだよ！

鷺沢　　おやおや。ペアーですか。

のぞみ　　今日は、ほら、馬とびだよ！（馬とびの体勢）

鷺沢　　君は僕に気があるんだね。

のぞみ　　何言ってるの！授業だよ！

二人、馬とびをする。

そこへ二宮が、もてている感じで現れる。それを恨みがましい目で見ている鷺沢。

のぞみ　　どうしたの？死んだ川魚のような目をして。

鷺沢　　きみは、行かなくていいの？

のぞみ　　今は、馬とびの時間だよ。（キラキラする）

鷺沢　　僕は決意した。今こそ妄想を離れ、彼女を手に入れる時だと！ところが…

体育館の裏。二宮とのぞみ、向かい合っている。

二宮 のぞみ…
のぞみ 二宮君…

ふたり、むさぼるようなキスをする。
ドラマチックな音楽。
それを見ていた鷺沢、大きな心の動きを表現する。

二宮 (気づいて) 鷺沢？

鷺沢 あああ…。

二宮 見られちゃったか。実は俺たち、つきあってるんだ。

のぞみ 二宮くんに、エール！

二宮 よせよ。気恥ずかしい。(のぞみとはける)

鷺沢 僕は、目の前でクリリンを殺された悟空よりも怒り狂った。ふたりとはそれ以来、しゃべっていない…。

楡 あの一、全然男と女の関係じゃなかった気がするんですが。

鷺沢 だまれ！！あの馬とびをしていた時、たしかに二人の気持ちはつながっていた。それをあの泥棒猫が、横からかっさらっていったのさ！！

楡 いや、のぞみさんもかなり積極的でしたよ？

鷺沢 だまれ！！だが二宮よ、高校時代にいちびっていた報いを受ける時が来たようだな。きさまが浮気していればそれでよし、していなくても、適当なけばい女の画像、そしてフォトショップがあれば、浮気の証拠くらいすぐでっちあげられる。社会的に殺してやる！

楡 むちゃくちゃだ！先生の好きにはさせませんよ！僕は真実を追究してみせます！

のぞみ、戻ってくる。

のぞみ 鷺沢さん。

鷺沢 ぎゃー！！

楡 何でもありません！

のぞみ ならいいの。私、先に蒜山へ帰らせていただきますわ。明日、結婚5周年記念のパーティーを行ないますの。鷺沢さんも、間に合えば是非参加してくださいな！

のぞみ、招待状を渡して去る。

楡 うわあ！僕、パーティーって初めてです！

鷺沢 (うかない顔)

楡 先生どうしました？顔が、死んだヘラブナのようになっていますよ？

鷺沢 僕の直感が働いたよ。

楡 え？

鷺沢 きわめて恐ろしいことが、このパーティーで起こるだろう。

恐ろしい音楽。暗転。
さわやかな鳥の音が響く。ここは岡山県の蒜山高原。

楡 うわあ、空気が気持ちいいですね！先生、ジャージー牛ですよ！

鷺沢 当然さ！日本で飼育されてるジャージー牛の約3分の1は、ここ蒜山で飼育されているのだからね！

おや、そんなジャージー牛に乗って、誰かがこちらへ駆けてくるぞ！

「ハイヨー！」の声と共に、ひとりのさっそうとした女性・のぞみがジャージー牛を操り駆けてくる！

のぞみ どうどう！（おりて）鷺沢さん、ようこそ蒜山へ！

鷺沢 のぞみさん！

のぞみ あの風車の向こうがパーティー会場ですの。

楡 うわあ！！なんて立派な風車！すごく大きいですね！

のぞみ 風がある日は、それはそれはぐるんぐるん回りますのよ。そのぐるんぐるん回る様は、見ていてすがすがしいほどのぐるんぐるんですわ。わたくしもそれくらい、自由になれればいいのに……！

鷺沢 のぞみさん？

のぞみ いえ。私、牛のお産で今手が離せませんので、先にお入りになって！

鷺沢 お安い御用です。

楡、鷺沢、パーティー会場に入る。

楡 うわあ〜！すごい洋館ですね！あのシャンデリア、いったいいくらくらいするんだろう！

鷺沢 まったく俗物だな、君は！あんな見事なシャンデリアを見たら、僕はこう考える。「あのシャンデリアは、いったいいつの時代のものだろう。」と。

楡 そっちなあ〜。

二宮、現れる。紳士。

二宮 あれはビクトリア王朝時代のものだよ。

鷺沢 二宮。

二宮 久しぶりだな、鷺沢。

鷺沢、二宮を殺そうとする。

楡 先生！

鷺沢 止めるな、楡君！こいつを今殺しておけば、後々面倒がない気がするんだ！！

楡 めちゃくちゃですよ！

鷺沢、殺すのを諦める。

鷺沢 （つばをはいて）運のいいやつだ。

楡 （二宮に）こんな言葉しか言えませんが、本当にすいません。

二宮 いいんですよ。恨みを買うのも、男の甲斐性の1つでね。

鷺沢 （ソファーに座りながら）おーおー、岡山の三分の一を持っている男は違うね！楡君！

楡 先生！！

メイドがやってくる。

メイド いらっしゃいませ。お客様。

楡 お世話になります。

鷺沢 ヒュー！メイド、ヒュー！
楡 控えてください。
メイド だんなさま、お客様たちがまとめてやってらっしゃいました。
二宮 お通ししてくれ。

客達、まとめてやってくる。

赤間 いやあ、お招きありがとうございます！
二宮 きてくれてありがとう。
赤間 私は赤間順一。二宮の大学時代の友人でプロゴルファーです。この敷地内にはゴルフ場もあるんだよね。明日は打つぞお！
はなえ 私もご一緒させて頂戴！私は山田はなえ。大阪でファッションブランドを運営しています。今度ブリュッセルにお店をオープンさせるわ！
一条 私は一条さやか。岡山日日新聞の記者よ！スクープ大好き！よろしく！
雪巖 なむあみだぶつ。拙僧は、雪巖と申す。パソコンに詳しい坊主で、二宮殿はうちの檀家なのです。
楡 ……いやあ、皆さん、一気に自己紹介されましたね。
鷺沢 なんらかの手間が省けたんだろうね。
メイド 大変です！
楡 どうしました？
メイド 今、急にがけ崩れがおきて…！この牧場と町をつなぐ唯一の道路が、通行不可能になりましたわ！

それっぼい音楽。
場面転換。あやしい動きをしている男の姿がかすかに見える。。

赤間 まさか、あいつがこの場にいるとはな…！

再び場面転換。朝。
食堂に赤間・一条・はなえがいる。そこへ鷺沢と楡がやってくる。

楡 おはようございます！
一条おはよう、よく眠れた？
楡 はい！
赤間 おはようございます。ふふ。あの面白ぼうず、朝から読経してますよ。
二宮 (現れて) やあ、みなさん。おはようございます。
赤間 やあ、おはよう！
二宮 妻を見ませんでしたか？今朝起きたらいなかったんです！
メイド (現れて) 奥様なら私、夜中の三時に見かけましたわ。
鷺沢 三時？
メイド ずいぶん、お悩みのご様子で、私がアスピリンをオススメしましたが、いらないとおっしゃって…。
はなえ きゃああああ！！

音楽！

鷺沢 どうしました！
はなえ あれを…！あれを…！

はなえ、窓の外を指す！

すると風車の羽に、無残にもものぞみがりつけになっている様が見える！

楡　そこには、無残にも風車の羽に貼り付けられた夫人がいた。そのさまはまるで、十字架に貼り付けにされた、キリストのようだった…！

場面転換。暗い霧囲気の中、のぞみをのぞいた全員がいる。

二宮　なんてことだ…！

赤間　しかし誰があんな…！

鷺沢　僕にはわかっています。

楡　先生？

鷺沢　犯人は、この中にいる！！

赤間　誰なんだ！

鷺沢　二宮、お前だ！！

二宮　ええっ??

はなえ　二宮さんが？

鷺沢　よくものぞみを！

鷺沢、二宮に殴りかかる！

楡　先生、やめてください！

オーディエンスによって引き離される二人。

赤間　どうして二宮が犯人なんです？

鷺沢　僕の希望です。

赤間　希望？

鷺沢　そうです。二宮が犯人であればいい。そしてこいつの人生がめちゃくちゃになればいい。

楡　先生！せめてもっと探偵であってください！

鷺沢　黙れ羽虫！！いいですか皆さん。二宮は金持ちだ。すなわち、愛人がいる。ここまではいいですね？

民衆　（それぞれの反応）

鷺沢　そしてそれは身近な若い女だ！

楡　身近な若い女…。それは誰ですか！

鷺沢　それはこいつに聞いてみよう。僕は今からこいつを拷問にかけます。皆さん、手伝って下さい。さあ、手の開いた人はバスタブに水をはって。

二宮　みなさん！みなさんの良心にお伺いします。僕とこいつと、どっちを信じますか？

民衆、二宮を支持する。

鷺沢　豚ども、いくらもらってるんだ！わかったぞ、（一条とはなえに）お前達が愛人だな！月々のお手当はいくらもらってるんだ！

はなえ　つきあってられないわ。（離脱）

一条　ええ。（離脱）

楡　こうして先生は探偵としての人望を失い、自分の部屋に引きこもった。しかし…！！

女　キャー！！

赤間がバターで殴られて殺されている。

榆 赤間さん！
鷺沢 何てことだ…！
メイド 皆さん、落ち着いてください。このラム酒をどうぞ。

みんな、飲む。

はなえ うっ！！（死ぬ）
榆 はなえさん！！
一条 （はなえに）大丈夫で…うっ！！（死ぬ）
榆 一条さん！
雪巖 うわあー！！（逆立ちで死ぬ）
榆 雪巖さん！！犬神家か！こうして、皆死んでしまった…。
メイド 私じゃありません！私、何にも入れてません！
榆 そうはいいですけどね、あなたが一番怪しいですよ！どう考えても！
鷺沢 やい、かわいいメイドさんを疑うとはきさま何様だ！
榆 くそう…！！
メイド （二宮に）私、疑われた。
二宮 僕は信じてる。君はそんなことをしない。
メイド 旦那様…。

二人、ムードたっぷりに背中合わせになる。

鷺沢 何をしてるんだ、メイドと、旦那様で！
榆 もしかして、できてるんですか？

音楽。

二宮 私が悪いんだ。日々膨らんでいく思いを抑えきれず。
メイド 私も、旦那様への尊敬が、いつしか恋に変わり…。
鷺沢 やっぱり浮気をしていたか…。
榆 若い女と。先生のカンがあたりましたね。（二宮に）あなたの奥さんが死んだのは、今朝のことですよ！ちょっとは慎んだらどうですか！！
二宮 若造に何がわかる！私にとって亡き妻との結婚は失敗だった。なんか全然愛してなかった。そこにメイドが現れたんだ。俺、若い子が好きだ。若い子と結婚したい！
鷺沢 贅沢を言うな！僕は女なら何歳でもいいってどこまで来てるんだぞ！
榆 何の争いですか！
鷺沢 やっぱり貴様が犯人か。よくものぞみを…！
二宮 妻も死んだし、結婚してくれ。
メイド はい、よろこんで。
鷺沢・のぞみ その結婚、待った！

のぞみ、出てくる。

榆 え？
のぞみ あなた、やっぱり浮気していたのね！

全員 うわあー！
二宮 許してくれ！
のぞみ 許さないわ！（蹴る）
二宮 ひえー！！
楡 あれ？足がある。
のぞみ そうよ。私は死んでいないわ。

音楽。

のぞみ この茶番を仕組んだのは私よ。私が死んだと思わせて、あなたの気持ちを確認しようと思った。でも、結果はご覧の通り…！はっ…！
楡 ちょっと待ってください。じゃあ、この人たちを殺したのは、
のぞみ 死んではいわ。飲むと仮死状態になる薬を飲んでもらったの。
楡 そうだったんだ！よかった！
のぞみ 一時間したら、目が覚めるわ。人によっては。
楡 人によっては？
はなえ （目が覚めて）う～ん。
一条（目が覚めて）あれ？寝てたわ。
楡 よかった！しかしそのほかの二人の目は覚めなかった。とりあえず今、ワインセラーで保管しているらしい。

別所。鷺沢とのぞみがいる。

鷺沢 僕はショックです。何もあんな茶番を打たずとも、僕が二宮の浮気を調べられたんだ。
のぞみ ごめんなさい、鷺沢さん。でも、あなたの探偵の腕は犬以下だという予感がして、わたし、不安になりましたの。でも、感謝してますわ。（千円を出して）これは、ほんのお礼です。
鷺沢 （断って）それより、もっといいものをいただけませんか。あなたの、心です。

鷺沢、高校時代のように馬とびの体勢に。

鷺沢 さあ、お飛びなさいな！さあ！

二宮、走ってきて鷺沢を飛び越える。

二宮 のぞみ。すまなかった。メイドとは別れたよ。メイドが、メイド服を脱いだら、もうメイドじゃないことに気がついたんだ。僕は、単にメイドというものが好きだったようだ。
のぞみ 知ってたわ。あなたがただのメイド好きだったってことは。

二人、手を取り合う。

のぞみ ネットで、メイド服をオーダーしましょう。私、あなただけのメイドになるわ。
二宮 ありがとう。のぞみ。

二人、去る。

楡 やっぱり夫婦愛にはかなわなかったですね。先生。先生？
鷺沢 ぐあああ。う、動かすんじゃない！

楡 もしや、ぎっくり腰！
鷺沢 や、やっぱり、高校時代のようにはいかないね！

軽快な音楽が流れる。
終わり。